

負けないぞ！



がんばるぞ！

## 塩竈市震災復興計画（案）

《長い間住みなれた土地で、安心した生活をいつまでも送れるように》

平成 23 年 9 月

塩竈市



## 目 次

|   |                         |    |
|---|-------------------------|----|
| 1 | 策定の趣旨                   | 2  |
| 2 | 基本理念                    | 3  |
| 3 | 基本的な考え方                 | 4  |
|   | (1) 復興計画期間              |    |
|   | (2) 復旧にとどまらず復興へ         |    |
|   | (3) 生活再建を最優先する復興        |    |
| 4 | 基本的な方針                  |    |
|   | (1) 住まいと暮らしの再建          | 5  |
|   | (2) 安全な地域づくり            | 6  |
|   | (3) 産業・経済の復興            | 7  |
|   | (4) 浦戸地区の復興             | 8  |
| 5 | 復興基本計画                  |    |
|   | (1) 住まいと暮らしの再建          |    |
|   | 安全に暮らせる住宅の再建            | 9  |
|   | 地域ぐるみの子育て支援体制の強化        | 11 |
|   | ともに支え合う見守り体制の強化         | 11 |
|   | 児童・生徒の心のケアと学習環境の早期復旧    | 12 |
|   | 生涯学習環境の復旧と震災被害の後世への伝承   | 12 |
|   | (2) 安全な地域づくり            |    |
|   | 災害に強いまちづくりの推進           | 14 |
|   | 公共施設の早期復旧と震災対応力の強化、整備促進 | 16 |
|   | 情報インフラの強化               | 18 |
|   | (3) 産業・経済の復興            |    |
|   | 水産業・水産加工業の再生・復興         | 20 |
|   | 港湾機能の強化促進               | 21 |
|   | 市民生活を支える商工業の再生・復興       | 21 |
|   | みなとまち塩竈を体感する観光の再生       | 23 |
|   | (4) 浦戸地区の復興             |    |
|   | 住宅とコミュニティの再建            | 24 |
|   | 生活基盤の再生                 | 25 |
|   | 浅海養殖漁業の再生               | 26 |

## 1 策定の趣旨

本年3月11日に発生した東日本大震災は、我が国史上において未曾有の被害をもたらしました。

本市においても被害は市域全域に及んでおり、中でも特に津波被害の大きかった浦戸地区や沿岸地区においては、多くの尊い命が失われ、さらに生活の基盤が失われました。

今、まさに基幹産業である水産業・水産加工業をはじめとする地域経済、長い時間をかけて培ってきた本市の歴史や文化、市民生活が大変な困難に直面しています。

この困難を乗り越えて、被災した市民の生活再建を図ることや、地域経済の復興などに取り組むことが何よりも肝要です。

市民が一日も早く笑顔と活力を取り戻せるよう、一丸となって復興へ向け本格的に取り組むための塩竈市震災復興計画を策定しました。

この計画は、東日本大震災により被災した市民の暮らしとまちの復旧・復興に向けて、その理念及び基本的な考え方を明らかにするものであるとともに、目指す目標や取り組むべき施策、事業等を示すものです。

今後、計画に基づいて本市の復興に本格的に取り組みながら、最終的には、「第5次塩竈市長期総合計画」に掲げた『まちづくりの目標』や『目指す都市像』の実現を目指します。

## 2 基本理念

長い間住みなれた土地で、安心した生活をいつまでも送れるように

そのために・・・

### (1) 生活基盤の再生、多様な担い手の連携による地域社会の構築

今回の未曾有の災害を乗り越え、まちを早急に復興するためには、なによりも市民の生活再建が最優先です。そのため、住宅の再建支援や雇用の創出・安定化などを図り、生活基盤のできるだけ早い再建に努めます。

また、本市においては高齢化率が全国平均を上回っています。本格的な少子高齢化社会の到来を見据え、多様な担い手の連携によって、だれもが笑顔でともに支え合う福祉のまちづくりを推進し、安心して暮らすことのできる地域社会を構築します。

### (2) 安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくりの推進

さまざまな災害による被害を最小限に防ぐとともに、迅速に対処できるよう、これまで一般木造住宅の耐震補強の促進や公共建築物等の耐震化、津波・高潮対策、自主防災組織の育成を図るなど、災害に強いまちづくりを進めてきました。

今回の震災の教訓を踏まえ、特に津波に対する抜本的な対策を検討するとともに、これまでの防災対策・体制の見直しや、地盤沈下への対応を図るなど、まちの防災力向上に努め、市民が安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくりを推進します。

### (3) 基幹産業の再生・復興、地域経済の活性化

本市は、古くから天然の良港に恵まれ、漁港や港湾を活用し「みなとまち」として大きく発展してきました。

しかし、発展の礎を担ってきた基幹産業である水産業や水産加工業をはじめ、港湾関連産業などは今回の震災によって大きな被害を受けており、その立て直しが急務となっています。

地域に活力を取り戻すためにも、水産業や水産加工業、港湾関連産業などの再生・復興を促進し、地域経済の活性化を図ります。

## 3 基本的な考え方

### (1) 復興計画期間

本市において津波によって甚大な被害が発生している地域があります。

早期に復興を図るものについては前期5か年で、長期間にわたって復興に取り組む必要があるものについてはさらに後期5か年をかけて行うこととし、復興を達成するまでの期間を概ね10年間とします。

### (2) 復旧にとどまらず復興へ

再度の被災を防ぐため、各分野の有識者からの意見・提案を活かしながら安全・安心なまちづくりを図るとともに、単に震災前の姿に戻す「現状復旧」にとどまることなく、より快適で活気あるまちへの「復興」を目指します。

### (3) 生活再建を最優先とする復興

「生活の復興」と「市街地の復興」を両輪ととらえ、市民・企業などの意見・提案を復興計画に反映させながら、市民協働のもと、被災者の生活再建に最優先で取り組みます。

## 4 基本的な方針

### (1) 住まいと暮らしの再建

#### 被災住宅の再建支援

本市においては、津波による浸水が本土地区では市域面積の約22%、浦戸地区では全島において居住区域に達するなど、甚大な被害を受けております。

現在、仮設住宅が本土に158戸、浦戸地区に48戸が完成し入居が進んでいますが(8月末現在)、本格的な生活再建に取り組むためには、なによりも、被災住宅の再建が最重要課題となります。

災害によって住宅に被害を受けた市民が、一日も早く震災前の生活を取り戻し、安心して生活できるよう被災住宅の再建を支援するとともに、自力での住宅再建が困難な方のための方策を検討します。

#### 雇用の維持・確保

津波によって沿岸部における多くの企業が被害を受けており、多くの市民が離職や休職を余儀なくされています。

被災者が生活を再建するためにも、本市の基幹産業である水産業・水産加工業、港湾関連産業をはじめ商工業など、地域経済の再生・復興に積極的に取り組み、安定的な雇用の確保を図ります。

これらと併せて、国・県の制度を活用した雇用の創出や、事業者に対し雇用に係る助成制度の周知、雇用の維持等に係る相談を行うことによって、被災者に対する雇用の維持・確保に努めます。

#### 被災者への経済的支援

本市の住家は、震災によって全壊が682戸、大規模半壊が1,616戸など、一部損壊を含めると約7,400戸が被害を受けています(6月30日現在)。

住宅の被災や身体的な被害、離職の問題など、被災者は経済的に大きな負担を強いられています。そのような負担を軽減するためにも、国・県の制度などを活用して経済的支援を行うとともに、二重債務問題の解消に向け、国や関係機関に働きかけを行うなど、被災者の生活再建を支援します。

#### 公的サービス等の復興・再構築

市立病院においては震災発生直後から診療を開始し、救急患者の受け入れを行いました。また、「しおナビ100円バス」や離島航路などの運行を早期に再開するなど、市民生活と密接に関わる行政サービスの早期復旧に努めてきました。

被災者が生活や地域社会を再建していく上では、医療、保健、福祉、教育等に

係る行政サービスの機能回復が不可欠となります。これらの行政サービスに関わる施設の早期復旧を図るとともに、復興に向けた市民の様々なニーズに対応するため、多様な担い手との連携により、サービス提供体制や施設等の再構築に努めます。

## (2) 安全な地域づくり

### 公共施設等の復興

漁港施設や港湾施設においては他の被災地に比べると比較的被害が少なく、魚市場では早くから水揚げを再開しています。また、仙台塩釜港の塩釜港区では東北地方沿岸部のエネルギー供給基地として、震災後初めて大型石油タンカーが入港するなど、復興のシンボルとしての役割を担っています。

現在、道路や下水道施設、寒風沢の浮き桟橋など、多くの公共施設等が被災しており、これらを迅速に復旧することによって機能の回復に努め、二次被害の発生を防止するとともに、施設等の復興に取り組むことが必要です。市は各種の災害復旧制度を活用しながらその復興に努めます。

### 安全・安心な市街地の再整備

「みなとまち」として、沿岸地域に近接して都市機能が集積し、中心市街地を形成している本市の特性を踏まえ、市街地の整備については現状復旧にとどまらず、今回と同規模の地震や津波が発生した場合にも対応しうる防災対策を講じる必要があります。そのため、新たな防災のまちづくりに関する方針を定め、安全・安心な市街地の整備を図ります。

### 都市基盤・機能の復旧・復興

特に、津波による被害が大きかった沿岸地区や浦戸地区においては長期間にわたりライフラインが寸断され、市民生活などに大きな影響を及ぼしました。

ライフラインや公共交通機関、病院、学校などの都市基盤・機能は、市民生活や地域産業、経済活動を支えているものであり、被害による機能停止は、それらの復興に大きな影響を及ぼすこととなります。

したがって、都市基盤・機能の復旧・復興には特に被災者の生活に密接な関係にある機能は、早期の復興を行うとともに、災害によって脆弱性が明らかになった機能や施設については、耐震性等の強化を図ります。

また、地域全体の復興を視野に入れて計画的に復興するため、他の基盤施設と連携しながら、都市基盤の強化に取り組みます。



## **津波被害地区の復興**

浦戸地区及び沿岸地区は地震による被害に加え、大津波により甚大な被害を受けています。津波被害地区の復興のあり方については、地域の方々の意思を尊重するとともに、専門家の知見を活用しながら、その方向性について検討します。

## **(3) 産業・経済の復興**

### **基幹産業の再建・復興**

本市の基幹産業である水産業や水産加工業、港湾関連産業は今回の津波によって甚大な被害を被っています。

水産業・水産加工業については、被災事業者の経済的な負担を緩和し、経営の安定化が図れるよう、国の制度などによる施設設備の復旧補助や低利の資金融資などを行い、早期の経営再建を促進します。さらに、津波によって壊滅的な被害を被った三陸沿岸の水産業・水産加工業の復興のけん引役としての役割を果たせるよう、将来を見据えた水産都市としての基盤づくりを推進します。

また、港湾関連産業については、仙台塩釜港を一体として捉え、物流生産機能の早期復旧などを関係機関に積極的働きかけるなど、港湾機能の復旧・機能強化を促進します。

### **商工業の再建・復興と観光振興**

市内事業所の大半を占める中小・零細企業は、被災によって一層深刻な状況にあります。このため、できるだけ早期に工場・事務所等の施設再建を図り、生産・営業活動を再開することが重要です。再建資金の確保が困難な事業主に対し、市の独自制度によって支援するとともに、各種金融支援制度を活用し、事業活動が継続できるような措置を図ります。

また、今回の災害による観光客の減少は、地域経済及び本市の活性化に大きな影響を及ぼすことになるため、観光客の回復に向け、商業施設の再開支援や集客施設の整備、誘致活動を推進します。

### **国・県に対する新たな支援制度創設の要請**

地域産業の活性化や復興支援に向け、被害状況に関する情報の収集を迅速に行い、被災事業者等に対する経営相談の実施、各種融資制度の周知に努めるなど、企業の生産活動の活性化を図ります。

さらに、既存の法制度にとらわれない融資枠の拡大や利率の引下げ、財政的支援制度の創設などを国・県に働き掛けます。

## ( 4 ) 浦戸地区の復興

### 被災住宅の再建支援

本格的な生活再建に取り組むためには、まず、被災住宅の再建が最重要課題となります。

しかしながら、浦戸地区は特別名勝「松島」の指定地域にあるため、住宅再建が困難な状況となっております。また、高齢化率が50%を超えるなど、自力での住宅再建も難しい状況が予想されます。

災害によって住宅に被害を受けた島民の住宅再建に向けて、国や県に規制緩和の働きかけを行うとともに、自力での住宅再建が困難な方のための方策を検討します。

### 浅海漁業の再建

浦戸地区における浅海漁業は、今回の津波により甚大な被害を被っています。従事者の高齢化や後継者不足の問題もあることから、今後の再建に向けては、被害状況を詳細に調査し、養殖施設や共同処理施設などの再整備の支援、経済的な負担を緩和するための資金融資などを行い、早期経営再建を促進します。

### 生活基盤等の復興

若年層の流出による人口減少と高齢化が急速に進行している浦戸地区においては、今回の震災の影響によってその傾向が一層進行すると予想され、その対応が急務となっております。島民の足として日常生活に欠かすことのできない離島航路や、浦戸診療所、高齢者福祉等に係る行政サービスの機能回復が不可欠となります。

これらの行政サービスに関わる施設の早期復旧に努めるとともに、復興に向けた様々なニーズに対応するため、提供体制や施設の再構築に努めます。

## 5 復興基本計画

### (1) 住まいと暮らしの再建

#### 安全に暮らせる住宅の再建

##### 現 状

東日本大震災による津波によって住家に甚大な被害

- ・本土側：市域面積の約22%が浸水。港町、藤倉、北浜地区などで大きな被害。
- ・浦戸地区：居住区域のほとんどで浸水。一部の高台地域などを除いて壊滅的な被害。

##### 復興の課題

1. 市域面積が狭く遊休未利用地がほとんどないことから、高台地域への移転の候補地を確保することが困難。
2. 護岸や道路などによる多重防御だけではなく、宅地の地盤沈下対策が必要。
3. 自力での住宅再建が困難な被災者の住宅再建支援などの方策の検討。
4. 壊滅的な被害を受けた浦戸地区の住宅再建。

##### 復興の方向性（案）

1. 今まで暮らしてきた地域での住宅再建を原則とする復興。
2. 本土側の港町、北浜、藤倉地区等における浸水対策と併せた地盤改良、地盤の嵩上げ。
3. 災害公営住宅などによる住宅の再建支援
4. これまでのコミュニティを維持することを前提とした高台移転や災害公営住宅などによる住宅の再建支援

#### 地区懇談会で出された意見

##### 【港町】

元の場所に家を建て直したいと考えている人がかなりいると思いますが、港町2丁目の道路をどれくらい嵩上げするか具体的にご回答いただけないと、家を建てるとき高さが決まらないです。

新築に着手した場合、復旧にたいしてそういう基礎の嵩上げなどに対する予算・補助制度はあるのでしょうか？

地盤沈下のひどい地域に新築した場合の固定資産税等の減免措置はどうか？  
なるのでしょうか？

水害に遭った土地の評価額など、教えてください。

全壊で解体した跡地は震災の危険地域になるのでしょうか？それとも、すぐに新築しても宜しいのでしょうか？

高齢者が多い中で年齢制限等あり資金が難しいと思いますが、県・国で助成する仕組みはありますか？もし無いのであれば、市から国にお願いして頂けませんか？

**【北浜】**

工場の再建を考えましたが大潮・満潮の時は水があがります。もう家には資金はないので工場は移転する覚悟ですが、自宅は現在の場所に残して住みたいと思います。80歳過ぎの母を自宅に残して現在の場所に安心して暮らせるのか、不安です。本当に、安心・安全な土地づくりを考えて下さい。

これから、家を建てる場合の規定となる高さを教えてください。

**【藤倉】**

道路だけ嵩上げしても、水がきますから、家自体も嵩上げが必要だと思います。高潮対策も必要だと思います。

復旧・復興に関するまちづくりですが、基本理念「長い間住みなれた土地で、安心した生活をいつまでも送れるように」には賛成ですが、津波・地震で全壊した跡地には家を建てる事は出来ないのでしょうか？

**【仮設住宅(ガス体育館)】**

藤倉に住んでいた。家は全壊だったが、周りでは既に人が住んでいる。安定して生活できる場所があるのか？と思う。

**【仮設住宅(伊保石ステーション)】**

港町だったが、今家を壊してもらっている。壊した後どうなるのか？また、そこにすめるのか？壊した後、そこに住まないとなった場合、その土地は市で買ってもらえるのか？

**【東部地区】**

東部地区ですが「住みなれた土地、安心した生活を」する為の職住分離の説明がありましたが、東部地区には職住分離する土地がないと思います。土地を高くする為の計画・費用はどうするのでしょうか？

地域で大規模な家屋解体が始まっていますが、自宅より道路の方が高い状態になっております。嵩上げは大変な作業だと思いますがどのようにするのですか？

地域の解体作業は進んでいますが、家屋の補修が進んでおりません。港町に住み続けたいと思っていますので「安心した生活をいつまでも送れるように」市民に情報提供を速やかにお願い致します。

## 地域ぐるみの子育て支援体制の強化

### 現 状

震災による住宅の被害、父母の就労環境の変化などにより家庭における子育て環境が悪化。

### 復興の課題

1. 被災した子ども・保護者への心のケア。被災世帯における地域ぐるみの子育て支援体制の充実が必要。

### 復興の方向性（案）

1. 親子の心のケアや子育て相談を受ける体制の強化。地域ぐるみの子育て支援体制の強化や、保健師などによる訪問指導の実施、地域での見守り体制の充実。

### 地区懇談会で出された意見

#### 【藤倉】

藤倉の児童館、北浜公園、北浜集会所の公園、いつ頃、着工し完成するのですか？子供の遊び場がありません。

公園などは建物だけを取り除いて、土を入れ替えグラウンドだけでも使える状況に出来ないでしょうか？

塩竈市内で今回の地震・津波で親を亡くした子どもはいますか？いるとすれば、心のケアをどのように考えていますか？

## ともに支え合う見守り体制の強化

### 現 状

避難所などの避難生活での疲労の蓄積や、仮設住宅での生活環境面の変化などによって、被災者の身体的、精神的ストレスが増大。

特に津波による住宅被害が大きかった地域においては、避難などによって住民が減少。

### 復興の課題

1. 被災者や災害弱者の健康管理、心のケア、疾病予防、重症化防止。特に、高齢化率が県平均よりも高い本市の実情を踏まえた高齢者への対応。
2. 住宅被害が大きかった地域におけるコミュニティの希薄化が懸念。

### 復興の方向性（案）

1. 仮設住宅入居者および在宅での被災者への訪問指導体制の充実や心のケアの実施。ワクチン接種などに対する経済的支援の実施。各関係機関との連携強化による見守り体制の整備。
2. 安心して住み続けることができるよう、良好なコミュニティの再生・強化に向けた町内会などの活動支援や集会所施設等の復興・整備。

## 児童・生徒の心のケアと学習環境の早期復旧

### 現 状

子どもたちの地震に対する不安の顕在化が顕著。

学校施設への震災によるダメージが大きく、復旧工事を済ませた学校施設においても耐久年数が予定よりも短期化。

### 復興の課題

1. 震災による児童・生徒の発達への影響を考慮した心のケア。
2. 各小中学校施設とも震災による被害が大きく、復旧後も耐用年数の短期化も定されるため、計画的なメンテナンスが必要。
3. 今回の事例を踏まえた防災教育の充実。

### 復興の方向性（案）

1. 震災によって児童・生徒が受けた影響に対する心のケアの実施。被災した児童・生徒への継続的な支援。
2. 地震により被害を受けた小中学校の校舎、屋内運動場、給排水設備の早期本格復旧。学校教育施設の計画的なメンテナンス。
3. あらゆる災害を想定した防災教育の推進。

## 生涯学習環境の復旧と震災被害の後世への伝承

### 現 状

東日本大震災による地震・津波によって生涯学習施設、スポーツ施設及び文化財に被害。震災前の状況に比べ生涯学習関係の市民サービスが低下。

### 復興の課題

1. 生涯学習環境及びスポーツ環境の被災による機能低下。
2. 文化財・芸術作品の保護及び被災した民間の蔵などから歴史的価値のある資料の散逸が懸念。
3. 震災に関する資料の散逸、風化が懸念。

### 復興の方向性（案）

- 1．地震により被害を受けた市内の生涯学習施設、スポーツ施設及び文化財の早期本格復旧と市民へのサービス提供水準の復旧。
- 2．東北歴史博物館や文化財レスキュー機関など、関連機関との連携による文化資料の保護。
- 3．震災に関する資料の収集、整理・保存の推進。

## ( 2 ) 安全な地域づくり

### 災害に強いまちづくりの推進

#### 現 状

チリ地震津波や宮城県沖地震の津波に対応した防潮堤の整備が進められてきたが、今回の津波はこれを上回る規模であり被害が甚大。

公共施設、一般住宅の耐震化の推進により、地震による被害を最小限に抑制。電気やガス、水道などのライフラインや石油燃料などのエネルギーが長期間にわたって一時途絶え、復旧活動や市民生活に大きな支障が発生。

#### 復興の課題

- 1 . 多重防御の取り組みが難しい本市の実情を踏まえた津波対策を検討し、市民の安全・安心の確保を図ることが必要。
- 2 . 地震による被害は少なかった一方で、脆弱性が明らかになった施設等の耐震化が必要。
- 3 . 津波対策の推進と併せた避難場所・避難経路の見直し、通信インフラの整備、防災備蓄の見直しなど総合的な防災対策方針の見直しとともに、町内会、自主防災組織による活動の促進が必要。
- 4 . ライフラインやエネルギーが途絶えた場合を想定した対応策の検討が必要。

#### 復興の方向性（案）

- 1 . 水際にある防潮堤で津波による浸水被害を防ぐことを前提として、被災した防潮堤の再生・整備を促進するとともに、背後の幹線道路に堤防機能を付与することや防災緑地、安全な避難場所、避難経路を整備するなど、災害に強いまちづくりを推進。
- 2 . 一般木造住宅並びに公共公益施設の耐震化の促進。
- 3 . 避難場所や避難経路の見直しや防災備蓄の見直しなど地域防災計画の全面的な見直し。町内会や自主防災組織による活動を促進するための、集会所施設等の復旧・整備や自主防災組織結成率向上の推進。
- 4 . 井戸水など、身近な自給エネルギーの活用促進や、地域特性を生かしたバイオマスエネルギーの導入促進による資源循環型社会の形成。

#### 地区懇談会で出された意見

##### 【港町】

まだまだ余震が続く中、今日現在の毛布・食料等の備蓄の状況、重度の障害者・お年寄り向けのレトルト（特別食）食品は備蓄してあるのでしょうか？



今回、市で指定された避難場所ではないので、翌日、市に物資のお願いに行きましたが、指定避難所の三小に移動してくれと言うことでしたが、移動は大変であり、市に掛け合い、物資の提供を頂きました。指定避難所で無くても、物資の提供など今後考えてください。

#### 【北浜】

今、説明を受けた津波のレベルですが、陸の方に行くほど高くなるのではないのでしょうか？平面的な考えではなくて県や国の意見を取り入れた中で、もう少し工夫した堤防が必要ではないか？

北浜緑地の防潮堤を早く作ってほしいのですが、時間がかかるのであれば、矢板を使って応急措置をして欲しいです。

高潮が1番怖いです。土嚢を置いたりして対応して頂いていますが、配水管からわき出てくるので、早く対策をお願い致します。また小さい津波がくれば北浜だけに入ってくるので、対策をお願い致します。

高潮の時に海水が逆流してきます。これでは、防潮堤を作っても海水が逆流してくるようでは意味がないので、その所も踏まえて考えて下さい。避難時に車を置く場所の確保、ハザードマップの作成、横道の増設などを考えた方が良いと思います。

#### 【藤倉】

私は津波対策としては防潮堤の高さより、避難路・避難棟・情報の迅速と正確さが大切だと思います。

地域で緊急避難できる建物を検討して下さい。

線路の高さまで、盛土しておけば、藤倉まで津波は来ないと思います。もしくは、道路を高くして下さい。下水道・排水溝から水が上がらないような仕組みにして下さい。停電になるとTVが見れず、全く情報が入りません。市として、太陽エネルギーなどの緊急時の電源確保を考えて下さい。

護岸工事は道路の嵩上げよりも先に行って欲しいです。

#### 【東部地区】

産業道路よりも、防潮堤の完成を優先して下さい。

中の島から港地区の防潮堤の底の部分が破壊されて、高潮が入ってきます。玄関先まで入ってくるので引っ越した人もいます。

二又にある、汚水処理場の排水路の堤防が低いので中の島公園が水浸しです。どういう対策を考えているのですか？

#### 【北部地区】

集会所は震災後漏水でずっと使えない状態です。早急に対応してほしい。

塩竈市では65歳以上の方が25%を超えている状況で津波・地震・火事などが起きた場合の対策を考えて下さい。

梅の宮地区はがけ崩れが1番怖い状態です。お寺のよう壁が今にも崩れそうです。子供達の登校通路でもあるので、何とかして頂きたいです。

北浜緑地護岸の完成はいつ頃でしょうか？地盤沈下の影響で高潮が会社の入口まで来て、車を動かさせません。

【南部地区】

防潮堤は出来るだけ高くお願いします。

地盤沈下ですが、藤倉・港町などは目で見て分かるのですが、その他の地域で津波が来ない地域でも地盤沈下がわかるのでしょうか？また、地盤沈下している場所があるのでしょうか？

地震が来たときに南錦町には給水車がきませんでした。高齢の方は水をくみに行けないので、井戸水の活用が効果的だと思います。井戸水が安全な飲み物かどうか、市でも調べて下さい。

津波が来た場合、渋滞しますし、津波が来ているのかどうか分かりませんので、道路のポイントに非常 灯のようなものを付けて目で見ても危険度が分かるように工夫してみてもどうでしょうか？

【西部地区】

集会所の活用をもう少し考えて欲しいと思います。100人くらいの老人が避難しましたが、発電機がありましたが、ガソリンが無くて使えなかったです。食料も市から何の援助もありませんでした。老人は月見小学校に避難できないので、もう少し考えて下さい。

津波の被害は無かったのですが、避難所には救援物資が行っているようですが、自宅で頑張っている人には供給が無かったようです、今後、検討して下さい。

---

## 公共施設の早期復旧と震災対応力の強化、整備促進

---

### 現 状

市民生活に密接に関わりのある道路や上下水道施設、公園など多くの公共土木施設が被災。

### 復興の課題

- 1．市民生活の安全・安心を確保するため、被災した公共土木施設等の早期復旧が必要。
- 2．公共土木施設の防災等の機能強化とともに、復興を見据えた広域アクセス道路の整備促進が必要。

### 復興の方向性（案）

- 1．震災による被害を受けた道路、上下水道など、市民生活に欠くことのできない公共土木施設の早期復旧。
- 2．道路や公園を嵩上げするなど、防災の視点を入れた機能強化や下水道施設等の浸水対応力を強化。上下水道施設の耐震化や更新の推進。避難路や産業振興の広域アクセス道路としての活用が期待される広域道路の整備促進。

## 地区懇談会で出された意見

### 【港町】

中の島のポンプ場の排水溝ですが、地盤沈下がすごくて、排水路をなんとかして下さい。

塩釜が何処よりも早く復旧したことを宣言出来るような市にして下さい。

### 【北浜】

市内のあちこちが陥没してしまっていて、昼も夜も歩くのが怖いですが、色々な事情があるので、我慢出来ることは我慢しますが、直すのに何年かかるのだろうと思いました。

### 【藤倉】

児童館前の街灯が無くなり、真っ暗です。いつになったら直りますか？

藤倉に関しては病院もありますし、交通の便もよいし、良い環境ですが、台風などですぐに水が溜まります。地盤を強化するように、藤倉に関しての具体的な計画を教えてください。

### 【北部地区】

梅の宮の陸橋ですが橋が落ちそうで怖いです。一度検査をお願いします。

地震の時に45号線が車で大渋滞になり大変困りました。災害道路として利府に抜ける道路を完成させて下さい。

清水沢町内で道路の陥没があり、雨が降ると水が流れません。何とかして下さい。

### 【東部地区】

産業道路よりも、防潮堤の完成を優先して下さい。

25年前の水害でも配電盤の故障でポンプ場が動きませんでした。今回の地震でも配電盤の故障が発生しています。対応を講じていただきたい。

### 【南部地区】

道路の地割れの幅とか、深さの点検は全部終わっているのでしょうか？

塩釜陸橋の水道管が破裂して、その近辺が陥没して、地割れしているところがありますので確認をお願いします。

塩釜駅前の交通アクセスですが、多賀城から塩釜・利府インター、右折・左折が混んだり、利便性に障害があると思いますが、市ではどのように考えておりますか？

## 情報インフラの強化

### 現 状

東日本大震災によって長期間にわたり情報伝達に不具合が発生。

### 復興の課題

- 1 . 町内会・NPO・企業など多様な主体との情報網の構築や震災発生時の迅速かつ正確な情報伝達手段の整備・強化。

### 復興の方向性（案）

- 1 . 防災無線、沿岸部への津波監視カメラなど情報インフラの強化や、難視聴区域の解消。コミュニティ放送など様々な媒体を活用した情報発信体制の構築。町内会など多様な主体との情報網の構築。

### 地区懇談会で出された意見

#### 【港町】

長丁場になると思いますので、普段から意見を吸い上げやすい環境を作っていたきたい。

#### 【東部地区】

検討委員会には有識者が参加していると思いますが、被災した町内会の町内会長さんが検討委員会に参加し、町内会で議論内容を共有したいので今後、考慮してください。または、その際の資料を住民が回覧するとか考慮して下さい。

#### 【北部地区】

どの程度の大きさの地震で放送は鳴るのですか？突然なると困ります。今回の震災で行政とのコンタクトを取る為の防災無線などの対応や貸出しを検討して欲しい。

町内会単位で避難所を開催できないでしょうか？

震災時の情報（放送）に関して、もう少し間口を広げて欲しいです。

停電の場合の災害放送は大丈夫ですか？

3月11日ですが、防災無線が聞こえませんでした。（北浜4丁目）今回の浸水地域の防災放送が聞こえるような対策をお願い致します。また、津波で倒れないような防災無線を建設して下さい。

#### 【南部地区】

市のスピーカーですが何を話しているのか全く分かりません。スピーカーが何を話しているのか分かるように、お願いします。

**【西部地区】**

今回の震災を経験して、町内会の中の絆、非常時のかけ声など大切だと思いました。

給水車が来たことを知らなかったので情報の伝達、何かまわっての声かけなどお願いします。

### ( 3 ) 産業・経済の復興

#### 水産業・水産加工業の再生・復興

##### 現 状

早期に応急復旧を遂げた塩竈市魚市場についても、その後の余震等により、本来の機能が低下。

新浜地区にある水産加工業の集積地である水産加工団地は、以前から地盤沈下が著しかったが、今回の震災で地盤沈下がさらに進行。企業の減少も深刻化。

浦戸地区を中心として、浅海養殖漁業施設に甚大な被害。

##### 復興の課題

- 1 . 魚市場の本格的な復旧と今後を見据えた高度化に緊急的に着手することが必要。さらに、復旧にあたり、塩釜漁港との一体的な利用を行っている事から、漁港整備の付随施設として、漁港整備と連携した整備が必要であり、災害復旧に対する補助制度の拡充が必要。
- 2 . 水産関連企業の流出抑制と企業誘致を図り、基幹産業による市内経済の復興を牽引するための水産加工団地の基盤整備。
- 3 . 産地価格の低迷による漁業所得の減少に加え、度重なる災害により浅海養殖漁業者の経営状況は極めて厳しく、カキ処理場や海苔乾燥機など養殖漁業に不可欠な施設設備の復旧を行う財務力が低下。さらに、漁業所得の低下により後継者育成が困難な状況。

##### 復興の方向性（案）

- 1 . マグロに特化している取り扱い魚種を幅広いものに変えるために、凍結機能を持った冷蔵庫整備を支援するなど魚市場背後地の機能を強化。  
魚市場については、漁港岸壁を県が実施する漁港の災害復旧事業に合わせて早期復旧。建屋等を国の高度化利用促進事業を活用して高度衛生化を図るなど、将来を見据えた施設へ建替。
- 2 . 水産加工団地における地盤沈下対策の実施、空き工場の活用による新規企業の誘致、研究施設などの加工関連施設の誘致など、水産加工業の拠点としての再生。
- 3 . 浅海漁業施設の早期復旧と、付加価値の向上に向けたブランド化等に取り組み、漁業所得の増加による経営環境の向上を促進。

## 港湾機能の強化促進

### 現 状

仙台塩釜港・塩釜港区の港湾施設が震災による被害を受け機能が低下。さらに仙台港区の甚大な被害などによって港湾企業の経営が悪化。また、護岸未整備となっている北浜地区の緑地護岸の早急な整備が必要。

### 復興の課題

1. 塩釜港区は仙台港区に比べて比較的被害が少なかったことや相対的な重要度の低さなどから、復旧予算が仙台港区に重点配分されるなど、塩釜港区の復興の立ち遅れが懸念。
2. 港湾関連企業の施設も被災しており、効率的な復興を図る上で、仙台港区への集約化が進行することが懸念。
3. 北浜緑地護岸の防災上の計画高の再検証と塩竈らしい港奥部の景観形成に配慮した整備。

### 復興の方向性（案）

1. 施設の原形復旧にとどまらず、災害復旧に併せ、県の港湾計画に基づく塩釜港区の機能強化の促進、それに合わせた効率的な施設整備の促進。
2. 民間企業が今後も港湾関連事業を継続できるよう、根本的な浸水被害の解消策を実施し、港湾機能を確保。
3. 長期総合計画に沿った港奥部の整備と、沿岸部の住民が安全・安心に暮らし続けられる都市基盤の形成。

## 市民生活を支える商工業の再生・復興

### 現 状

市内事業所の大半を占める中小・零細企業が被災によって深刻な被害。被災者を含め、市内の雇用環境が悪化。

### 復興の課題

1. 中心市街地に立地する中小企業や個人商店が多数被災しており、中心市街地の復興には中小企業や個人商店の事業再建が不可欠。また、支援金による支援には限界があり、一過性のものであることから、経営的なノウハウでの支援など、ソフト面での継続的な支援が必要。
2. 商店街の維持を図る上では、既存事業者の再開にとどまらず、新規事業者の誘致なども必要。

## 復興の方向性（案）

1. 事業再開や商店街の再生は市の復興に大きく関わる。事業者の営業活動再開時だけでなく、再開後の事業継続など、局面に応じた支援を実施。
2. 事業再開支援に加えて、新規事業者を誘致するなど、商店街の機能維持と集客力の向上を図るための施策を展開。

### 地区懇談会で出された意見

#### 【本塩釜駅周辺地区】

海岸通のアーケードは今にも崩れ落ちそうです。裏の建物が崩れてくるのが心配ですし、通行量も多いので何とか早めに撤去をお願いします。

最盛期78店舗ありましたが、33軒に減りました。また、中通りがかなり地盤沈下しております。道路の陥没もあり、そこから満潮時に水がでてきて、引くときに地盤が少しずつ下がる状態です。市の方で、嵩上げはしてくれるのでしょうか？

海岸エリアに利便施設と隣の市の駐車場ですが、広範囲に被災を受けているので、いつ頃までに復旧するのでしょうか？

市営の立体駐車場は解体するのですか？

海岸通りの傾いた建物を早く取り除いていかないと、商売に支障がでます。スピードが欲しいです。言葉ではなく、行動をお願いします。

海岸通りだと、大部分の方が商売を辞めているし、更に取り壊しが進むと、アーケード街はゴーストタウン状態です。私も店を開けていますが、以前よりお客様が大幅に減っています。アーケードにはもう5～6人しかいませんので、アーケードの維持は難しいかと思えますし、もし、店を撤去する場合はいつまでに申請すれば宜しいのでしょうか？

#### 【仮設住宅(ガス体育館)】

今、現在仕事がない。私も震災を期に解雇されたのだが、どうしても塩竈の方で仕事を探しているが、塩竈に仕事はない。



## みなとまち塩竈を体感する観光の再生

### 現 状

震災により観光施設などが被害を受け、平成23年1～6月期の市内観光客入込数が対前年比24.9%の減、同年4～6月期の入込数が対前年比70.3%に減少するなど観光客が激減。

### 復興の課題

1. 断続的な余震、風評被害などの影響により、観光客が減少。
2. 震災によりマリゲート塩釜などの観光施設やJR本塩釜駅など店が甚大な被害を受けており、一部施設で閉店状態にあり、市内の商店・事業所も被害を受けている。しかし、国の支援制度がほとんどないため、復旧に時間を要している。
3. 塩竈市の観光は、大きな目玉施設で誘致するという方法ではなく、小さな店を育てるようなやり方をとってきたため時間がかかる。震災前の状態へ持って行くこと自体に相当の時間が必要。

### 復興の方向性（案）

1. 正確な復興情報の発信による県内外における観光PRやプロモーション活動の積極的な推進。観光資源の掘り起こしと磨き上げに向けた大型キャンペーンの活用。
2. 観光施設や商店・事業所等の早期復旧・復興に向けた国への制度新設・拡充の要請。
3. 東北観光の玄関口を担うための周辺市町との連携を推進するとともに、観光施設の整備を促進。

### 地区懇談会で出された意見

#### 【北部地区】

水産業もですが、観光地としてもマリゲート前などの景観をふさわしいものにして下さい。

#### 【南部地区】

お祭りも皆が参加できる、賑やかなものを考えてみてはどうでしょうか？

## (4) 浦戸地区の復興

### 住宅とコミュニティの再建

#### 現 状

東日本大震災による津波によって住家に甚大な被害。特に浦戸地区では居住区域のほとんどで浸水するなど、一部の高台地域などを除いて壊滅的な被害。

・全壊戸数200戸、大規模半壊77戸、半壊36戸

(平成23年6月30日現在)

#### 復興の課題

1. 島民の高齢化、浅海漁業と住まいの結びつきを考慮した住宅再建。
2. 住宅再建に対する特別名勝松島の規制。

#### 復興の方向性(案)

1. これまでのコミュニティを維持することを前提とした高台移転や災害公営住宅などによる住宅の再建支援。
2. 住宅再建に対する規制緩和の働きかけ。

### 地区懇談会で出された意見

#### 【野々島】

高い所に移りたい、公営住宅のような場所があれば、尚、良いと思う方もいるかもしれません。或いは、また、住宅再建を考えている方もいます。

基本理念に「長い間住みなれた土地で、安心した生活をいつまでも送れるように」とありますが、私も全くその通りで、ここに住み続けたいです。

野々島全体の共同墓地に関して、整備をお願いしたい。

#### 【桂島】

住家に関してですが、今後、ここに建てるかどうか迷っています。どうすれば良いのでしょうか？

公営住宅・公営アパート的なものを希望したいです。

#### 【石浜】

高台移転の話もありますが、今までの場所に家を建ててもいいのでしょうか？

#### 【仮設住宅(伊保石ステーション)】

浦戸桂島にいました。近所の皆さんも家を流されてしまった。高台への移転となった場合、その場所はどこになるのか。

## 生活基盤の再生

### 現 状

震災によって航路や浮き桟橋などが被害を受けるなど、島民の足である離島航路の運航、渡船の運行に支障が発生。また、浦戸診療所の診療回数の減少、集落排水施設の損壊など生活環境が悪化。

### 復興の課題

1. 震災をきっかけとした生活環境の悪化による島外への人口流出が懸念。
2. 特に高齢化率の高い浦戸地区においては、高齢者の医療・福祉環境の整備や、見守りなど、島全体による福祉のネットワークづくりを進めることが必要。

### 復興の方向性（案）

1. 特に生活に密接に関わりのある離島航路、浦戸診療所などの公共施設、市民サービスの早期復旧。
2. 医療・福祉環境の充実と、相互見守りなど高齢者の支援体制の整備、地域コミュニティの強化促進。

### 地区懇談会で出された意見

#### 【野々島】

浸水対策について早急に対策お願いします。

船の運行はまだ難しいのでしょうか？

高潮対策・地盤沈下対策を早急をお願い致します。道路の嵩上げも含めてお願い致します。

津波が来たときに安全に避難できる高台・通路等を検討して下さい。

#### 【桂島】

いち早く復興の為の「復旧」をお願い致します。

高潮に困っている。これから、海苔の作業が始まるので、高潮対策をお願い致します。

#### 【石浜】

今回、津波・地震・大潮が一緒に来て、ここで生活できるかどうか不安です。

海岸付近の嵩上げは何センチくらいしてもらえるのでしょうか？

防潮堤はあまり高くしてもらいたくないです。

#### 【仮設住宅(伊保石ステーション)】

浦戸桂島にいました。近所の皆さんも家を流されてしまった。高台への移転となった場合、その場所はどこになるのか。

## 浅海養殖漁業の再生

### 現 状

東日本大震災により、牡蠣や海苔などの浅海漁業施設が甚大な被害を受けて壊滅的な状況。

海水浴場やハイキングコース、休憩所などの観光交流施設も甚大な被害を受け、交流活動が停止。

### 復興の課題

1. 生産基盤である漁港や養殖施設の被害等により、漁業者の離職が懸念。さらに、浅海漁業に携わる人の高齢化や、産地価格の低迷による漁業所得の減少などによる後継者不足。
2. 浦戸地区の生活基盤や産業基盤の回復は最も優先すべき課題である一方で、浦戸の復興には自然を活用した交流人口の増加を図ることも重要であるため、様々な観光資源の回復も必要。

### 復興の方向性（案）

1. 浅海漁業に係る施設や設備等の早期復旧、経営改善にむけた商品のブランド化の推進。
2. 復興と調和した次代に継承すべき貴重な自然景観の保全と、観光交流施設の整備や受け入れ態勢の再整備。

### 地区懇談会で出された意見

#### 【石浜】

船が1日2往復しかないし、船に乗り降りする時間が30分くらいかかるので、なるべく早く家に帰りたいので、時間短縮をお願いします。

これから、海苔やカキの仕事をする上で大潮対策が必要だと思います。

#### 【仮設住宅(伊保石ステーション)】

高台移転してアパートのようなものになったとき、商売をしていたものはどのようになるのか。アパートで商売は出来るか。